

現代の若者の足元へのこだわりから見る

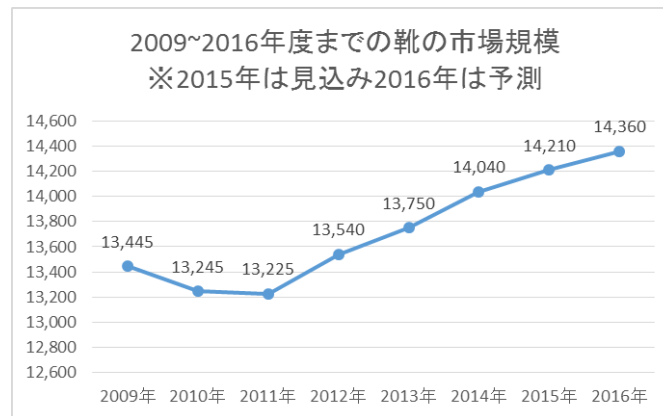
ファッションへの考えと価値観

松井 育海 (文教大学情報学部メディア表現学科)

1. はじめに

2014以降、日本国内の靴の売上高は年々増加の傾向にあるという(矢野経済研究所 2015)。その増加金額は2015年に前年度比101.2%の1兆4,210億円、2016年には1兆4,360億円と着実に上がってきている。(資料1参照)

資料1



この増加傾向の要因となっているのが売り上げ上昇時期、世の中に再び浸透し始めた「スニーカー・スポーツシューズ」のブームである。90年代に起きた爆発的なスニーカーブームが再び国内の若者を中心に盛んとなってきている。「スニーカー・スポーツシューズ」というと男性の方が、購入比率が圧倒的に高かったが、今では女性の購入比率も驚くほどに伸びてきている(矢野経済研究所・国内靴・履物小売市場に関する調査結果 2015)。

今では私の通う文教大学でもスニーカーを服のコーディネートに取り入れる女子をよく見かける。ヒールほど足も疲れないうえ、ここ2、3年で若い女性層を狙ったカラーリングやデザインのもものが多く販売されてきている。

さらに言えば、「おしゃれはまず足元から」という造語があるほど他社と対面した際にまず視覚に入ってくるのが服装などの身なりである。(トレンド総研 2013)の調査で仕事先の女性の上司の身なりで気になるところはありますかという質問に対し「靴」というカテゴリで気になる人は全体の約40%の人が「はい」と回答している。男女別で見ると男性3割女性5割もの人が気になるという回答している。そして場面、場面に不適切な靴を履いている女性上司は、男女ともに後輩の81%が「イメージダウンになる」と感じているが、具体的なイメージダウンとして最も多かったのは「がさつな人だと感じる」の75%。次いで71%が「仕事

はできて女性としては残念だと感じる」、それ以外では、それぞれ 6 割以上が「だらしな
いと感じる」(68%)、「幻滅・がっかりする」(64%)と回答されている。これは男性にも言え
ることであり、(From プラネット 2015)の調査で、「会社役員・経営者」で「靴磨きをする」
と回答した人は全体の 58.4%で、全体よりかなり高い数値がでていいる。つまり靴をこだわる
ことでその人のイメージの一部として他者は認識している。そういったことは社会人の人た
ちだけでなく大学生等の若者の中でも影響しているのかを今回の調査で明らかにしたい。

かく言う私も大学入学当初は全く靴などの足元のおしゃれに興味はなかった。しかし、靴
を好んで購入していくにつれ以前よりか靴のバリエーションがでてくると友人たちの大半
は気付くのだと実感した。つまり大半の人は足元を意識的に見ているのだ。

さらに若者は流行に敏感である。十文字学園女子大学社会情報学部社会情報学科平成 13
年度の学生は流行の定義として「その時代の文化の象徴である」と述べている。そしてそれ
だけの強い魅力がある反面、強い強制力がありそれを行使するというは小さな権威として
君臨しているということだろう。流行りのものを採用するというはささやかな優越感を感じ
たり、仲間集団との一体感を持ったり、世の中の動きに歩調を合わせることにすら意味する。
流行は、それに関心をもちながらためらって未採用の人には不安あるいは願望を、また採用
者に安心感をあたえる、とも十文字学園女子大学社会情報学部社会情報学科平成 13 年度の
学生は定義化させている。

これを踏まえると靴という一つの 카테고리内でもこの定義は本当に生きているのかを
検証したい。

これは、男性同士、女性同士内でも考え方の違いはあるだろう。さらに言えばこの盛んにな
っている「スニーカーブーム」において靴の重要度は男女間で最も差が出るのではないだ
ろうか？(所持数、値段設定などにおいて)

ちなみに、そもそもの男性と女性ではおしゃれに関する関心度はどれだけ違うのか？(文
化ファッション研究機構 2012)によると、20 代の男女とも他の年代に比べ比較的ファッ
ションへの関心、他人への意識などの数値が比較的高い。だが 1 か月に使用する衣服(靴も含ま
れる)の金額で男性は「1~2 万円以内」と回答する人が最も多く集中していたが、女性は「2
万円以上」に回答する人が多く、20 代男性で一番該当者が多かった項目「1~2 万円以内」に
比べ女性の方がより服装に気を使うようである。このことから靴という一点に絞った際
にもこの上記の調査のような差が見て取れるのではないだろうか。

ではなぜこの調査を行うことで何が明らかになってくるのか？

大きく 2 点あげられる。

一つ目は、この調査をすることで大学生という「自身に使う時間が比較的増える」「アル
バイトも自分から進んで始められる」「他者とのつながりが重要視されてくる」「自身を自由
に表現できる幅が広がっている」といった自身の「可処分時間」の自由度が最も高く、さら
に自由に使えるお金がある今の状態でどれだけ足元という特定の部分に意識を向けている
のか？また、服よりも靴に重点を置いて投資する場合があるのか？こういった大学生の金銭

面や頻度といった行動的な部分を数値化させることで大学生の普段の足元のおしゃれに対する意識を見る。

二つ目に、若者のファッションに対する意識は高い、なおかつ「流行」というその時代時代を形成するものが出現する世の中において、男女で靴や服にかかる資金に差が出るのはなぜなのか？これは男女の中でどこに重点を置いているのかの差が関係しているのではなないか？これらをふまえ男子と女子では「足元のおしゃれ」という一つの 카테고리において意見が分かれるのではないか？というテーマで私は仮説を考え調査したいと考えた。

以上の2点が今回調査をする目的であり結果から明らかとなる内容である。

男性陣が好きな靴

(※あくまでも一例)



女性陣が好きな靴

(※あくまでも一例)



2. 調査方法

2-1 予備調査

《予備調査時点での仮説》

- (1) 性別により足元にかかるお金が異なる(足元にお金をかけるのは比較的女性の方が多)
- (2) 友人といった他者からの影響で靴を購入する。(友人やオシャレな人の影響で靴の購入に踏み切る)
- (3) スニーカーは一つのブランドに固執してしまう。(スニーカーはカラーリングや値段よりもブランドを見る)
- (4) 履いている靴のジャンルによってその人の服のイメージや性格が予想できる(履く靴に対して合わせる洋服に対し固定観念がついてしまっている)
- (5) 単色の靴を多く所持している(単色の靴を選ぶことが比較的多)

《調査対象者と調査方法》

調査時期；2016年7月上旬に実施

調査場所；文教大学湘南校舎

調査主体；松井育海

調査対象者；文教大学湘南校舎学食内にいる文教大学在学生(延べ 30 人)

男性 10 名(全体の約 33%)、女性 20 名(全体の約 67%)

配布数と回答数；配布数 30 部 有効回答数 30 部(有効回答率 100%)

調査方法；質問用紙を配布し自記式アンケート調査を実施。

2-2 質問内容

《主な質問内容》

・「足元のおしゃれにこだわりがある」の定義化

「足元のおしゃれにこだわりがある」を定義化させるため、靴の所持数、靴の購入頻度、1 足に支払った最高金額、といった靴に関する質問を幾つか尋ねた。

・靴以外の足元の装飾品に関する質問

足元のおしゃれというと靴を強くイメージしてしまうが、靴下や、足元につけるアクセサリなどに対してもこだわりがあるかを調べるため、靴以外の足元に対するこだわりに関する質問を段階評定で尋ねた。

・足元のおしゃれに対する考えに関する質問

足元のおしゃれに対してどういう考えを持っているかを幾つかの質問を設け段階評定で尋ねた。(※今回の調査の本筋はここを明らかにすることである)

・靴の購入方法に関する質問

どういった方法で靴を購入しているかを調べる。

・購入時の基準(デザイン、カラーリングなど)に関する質問

靴(今回はスニーカー主とする)を購入する際にどういった基準で購入に踏み切っているのかを幾つか質問項目を設け段階評定で尋ねた。

・タイプ別服装によるイメージに関する質問

この質問のみ自由回答とし、服のタイプ別(ストリート、カジュアル)に 3 つに分け、その服装をした人物の画像を載せそれぞれのイメージとどういった靴を履いていそうかということを探った。

例①(ストリート系)



例②(モード系)



例③(カジュアル系)



例①(NEVER まとめブログ 2016)

例②(NEVER まとめブログ 2013)

例③(NEVER)まとめブログ 2014)

・フェイスシート(今回は性別と年齢のみ)

2-3 予備調査の結果

・「足元のおしゃれに対する考え」と「靴の購入頻度」の調査

「足元のおしゃれに対する考え」と「靴の購入頻度」の関係を調べた。購入頻度と靴を他者に進めるのが好きおススメしたものが購入されるとうれしいという項目に相関関係が見られた。さらに、靴を他人に見てもらいたいと回答した人は同等に「他者に褒めてもらいたい」「他者とは違うものを身に着きたい」「みんなに広まればいい」という項目に高い相関がみられた。(図表1参照)

図表1 ※1%水準で優位なものは*、5%水準で優位なものは**で表示している。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
質問項目①	100%	23%	-0.026	0.075	0.166	0.325	0.262	0.314
質問項目②	0.232	1	.526**	.712**	0.303	0.278	0.254	.443*
質問項目③	-3%	.526**	1	.588**	.612**	.631**	.367*	.422*
質問項目④	0.075	.712**	.588**	1	.449*	.515**	.438*	.608**
質問項目⑤	17%	30%	.612**	.449*	1	.680**	0.139	0.212
質問項目⑥	0.325	0.278	.631**	.515**	.680**	1	.579**	.640**
質問項目⑦	26%	25%	.367*	.438*	0.139	.579**	1	.683**
質問項目⑧	0.314	.443*	.422*	.608**	0.212	.640**	.683**	1

質問項目①・・・靴の購入頻度

質問項目②・・・衣類のおしゃれくらい重要。

質問項目③・・・服よりも靴の足元のおしゃれを見てもらいたい

質問項目④・・・足元のおしゃれを褒められるとうれしい

質問項目⑤・・・皆と違う靴を持っていると優越感がある

質問項目⑥・・・皆に靴を薦めるのが好き

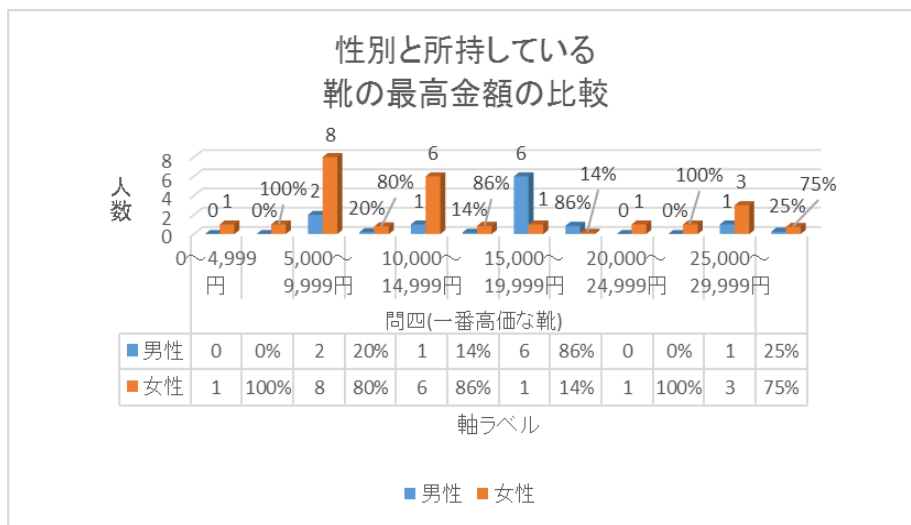
質問項目⑦・・・自分と同じのを履いている人を見かけるとうれしい

質問項目⑧・・・薦めた靴を他の人が買うとうれしい。

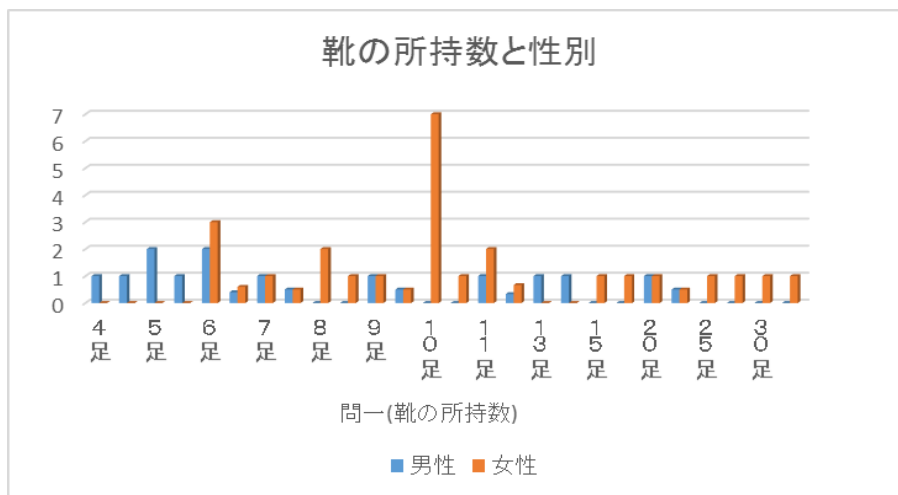
・性別と靴に関する(最高金額、所持数)調査

「性別」ごとに「一番高価な靴の値段」が異なるかどうか、クロス集計表を作成して分析した。当初の考えでは女性の方が高価な靴を購入している人が多いと思えたが、結果を見ると女性は意外にも 5,000～1, 4999 円台で購入している人が多く、むしろ男性の方が靴一足にかかる値段が 1, 5000～1, 9999 円台に集中していた。(図表 2 参照)次に靴の所持数に対して性別をクロスさせることとした。すると、女性と女性は10.付近に票が集中しているが男性は4～6 足という比較的少なめの範囲に票が集中していた。(図表 3 参照)

図表 2 (N=30 男子=10 女子=20)



図表 3 (N=30 男子=10 女子=20)



この二つの結果で、～女性は値段をリーズナブルにすることで多くの靴を所持し、男性は量を持たない代わりに品質のいいものを買う傾向にあるようだ～という仕組みが見えてきた。これをふまえ、本調査では新たに「靴に対する質と量」に関する質問項目を増やすことにした。

3. 本調査

3-1 調査方法と予備調査からの改善点

《改善後の仮説》

- ・性別ごと靴一足にかける「値段(質も)」と「所有数」の考えが異なる。
- ・他者とは違う靴を履くことで周りとの「差別化」をしている
- ・私生活で着る服装において「靴」を最も重要視している。
- ・靴のカラーリングでは「単色」を多くの人を選択する。
- ・「デザイン」が靴を選ぶ際、最も重視している。

《調査対象者と調査方法》

調査時期；2016年12月9日、16日実施

調査場所；文教大学湘南校舎

調査主体；松井育海

調査対象者；文教大学 「メディア社会学」受講者

「クロスメディアコミュニケーション」受講者

配布数と有効回答数；「メディア社会学」配布数100部 回収数100部

「クロスメディアコミュニケーション」配布数90部 回収数90部

合計配布数190部(多めに配っているため白紙も含まれる)

回答数172部 有効回答数140部(全体の約81,0%)

男女比 男子59人(全体の42,0%) 女子81人(全体の58,0%)

調査方法；授業内の集合調査で質問用紙による自記式のアンケート調査を実施

3-2 質問内容

《主な質問項目》

- ・靴または足元の装飾品に関する質問

前回の調査からの改善点としては、靴の所持数は記入方式をとっていたがある程度範囲を絞って項目に分けることとした。さらに新たな質問として「1足の最高使用年数」に関する質問と「靴の質と量に関する」設問を作った。

- ・足元のおしゃれに関する質問

予備調査で行った「足元のおしゃれ」に関する質問に加え「靴に対する考え」、「靴に対する価値観」に関する設問を作ることにした。

- ・靴のデザイン・入手方法に関する質問

ここは予備調査時と同じである。

- ・足元のおしゃれとファッションに関する質問

ここは新たに設けた項目である。前回の写真を使った自由記述の結果をもとに、私生活での服

や靴、アクセサリなどにおいて一体どこに最も重点を置いているのかを調査するためランキング形式にそれぞれ 1~3 位までを決めて記入してもらう。さらに普段の格好で靴と服をどういった基準で決めているのかをいくつか質問項目を作り段階評定で回答してもらう。

- ・フェイスシート

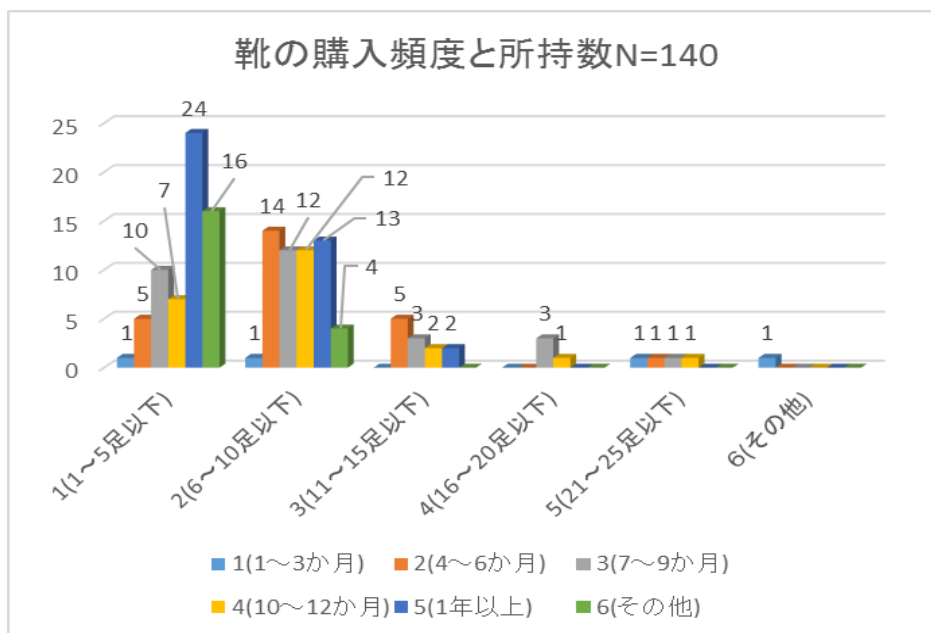
4. 調査結果

4-1 仮説検証

- ・男女別にみた靴の質と量に関する質問

全体の靴の購入頻度と所持数をクロス集計し、グラフ化(図 5 参照)させ予備調査で定義化させた「足元にこだわりのある人」がどれだけ該当するのかを調べた。結果は、21 人。これは全体の 15,0%とやや少なめであったが約 10 人一人は足元にこだわりがあるという結果となった。予備調査の段階では全体の約 53,2%がこの定義に当てはまっていたのだが、本調査では予備調査ほど多くの人数が現れなかった。今回、本調査はすべてメディア表現学科の授業で行ったので、学部によって偏りがあるのかもしれない。

図表 5 (N=140)

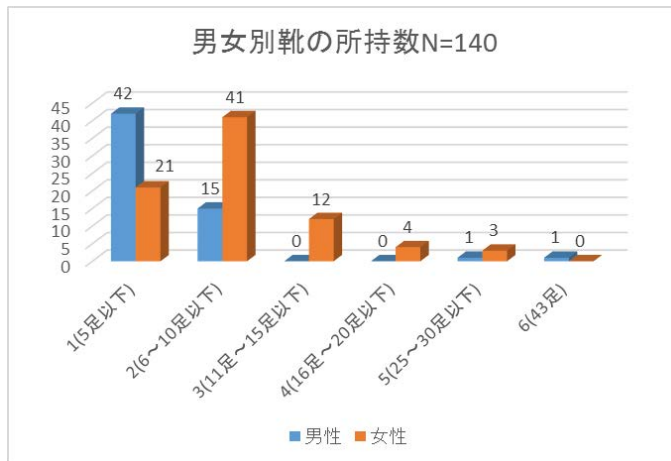


予備調査で得られた結果をもとに新たに考えた「男性と女性では靴一足にかかる値段(質も)と所有数の考えが異なる。」の仮説を検証するためまず、靴の所持数が男女差で異なるか

「クロス集計」を行い、グラフを作成した。 図表 6 (N=140、男子=59、女子=81)

(図表 6 参照)

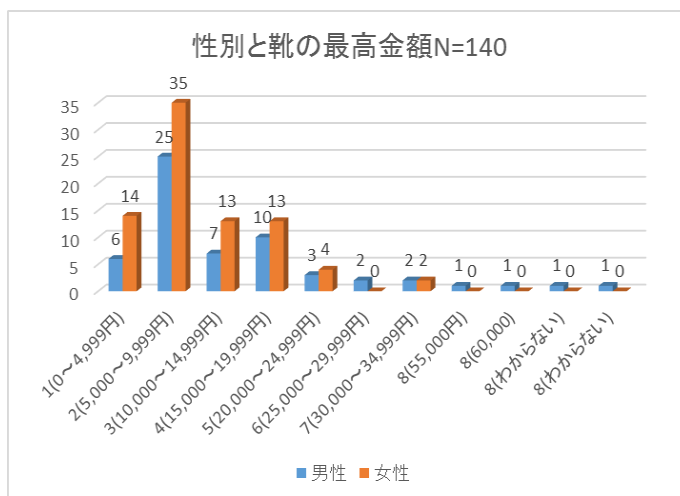
結果は、予備調査の時同様女子のほうが靴の所持数が多い項目(2~5)に該当する人が多く、逆に男子は5足以下に最も票が集まっていた



次に、男女で靴1足に投資する金額が異なるかを調べるため、靴の最高金額と男女で「クロス集計」を行いグラフ化させた。(図表 7 参照)

図表 7 (N=140、男子=59、女子=81)

女性のほうは(5,000~9,999 円)の項目に多く票(女性=35)が集中していた。男子は、票が多少割れてはいるが、回答項目 6~8 に回答しているのが男子のほうが多く、男子の方が高額な靴を所持しているように思える。

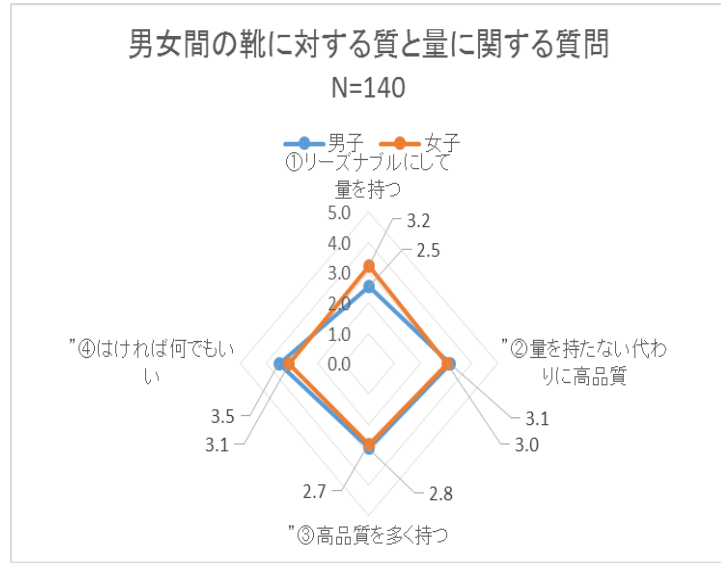


ここからさらに本調査では、(靴への)質と量に対する考えをはかる質問項目を作成し、段階の段階評定で回答してもらい、男女別でt検定を行い、目ごとの回答平均値をレーダーチャートにして作成した。(数値が高いほうが、よくあてはまるに回答してくれた人とする。)

(図表 8 参照)

図表 8 (N=140、男子=59、女子=81)

質問②、③に関してはあまり回答の平均値に差は見られなかった。だが、質問①「靴をリーズナブルにして量を持つ」(男子=2,5 女子=3,2)と④の「履けば何でもいい」(男子=3,5 女子=3,1)に少し男女間で回答に差がみられた。
 (① $t=3.194, df=128, p<0.5$ ② $t=463, df=125, n, s$ ③ $t=633, df=138, n, s$ ④ $t=1,692, df=138, p<0.5$) 特に①は男女間で大きく差がみられた。

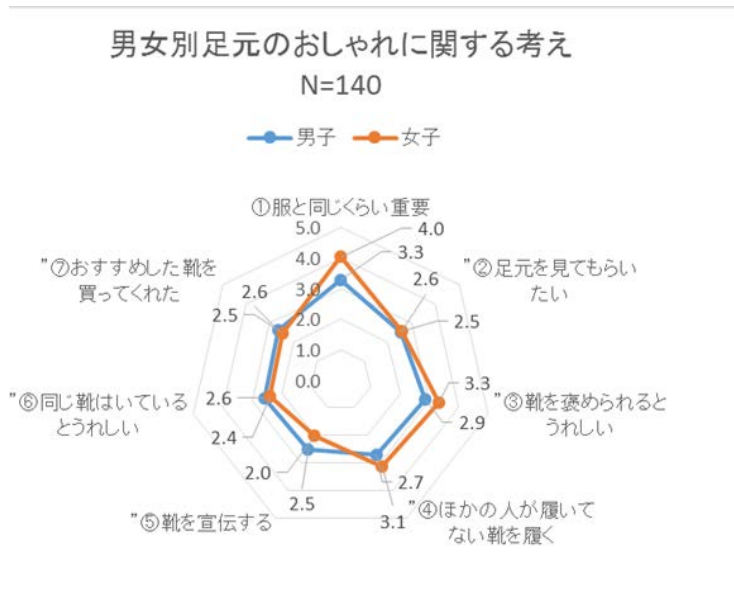


・「あしもとのおしゃれに対する考え」、「靴に対する考え、価値観」に関する質問

「足元のおしゃれに対しての考え」を見るため、5段階評定でいくつかの足元のおしゃれに対する質問を回答してもらい男女別の平均値をみるためt検定を行い、レーダーチャートを作成した。(このレーダーチャートも数値が高いほどよくあてはまるに回答した人が多いということとする) (図表 9 参照)

図表 9 (N=140、男子=59、女子=81)

質問①「足元のおしゃれは服と同じくらい重要」という項目では男女ともに平均値の値が「あてはまる」のほうに回答した人が多く(男子=3,3 女子=4,0)、特に女性陣は靴も日々のコーディネートの中で重要な部分を占めていると考えている人が多く伺えた。さらに質問③、④の「靴を褒められるとうれしい」、「ほかの人が履いていないような靴を履く」の二項目でも



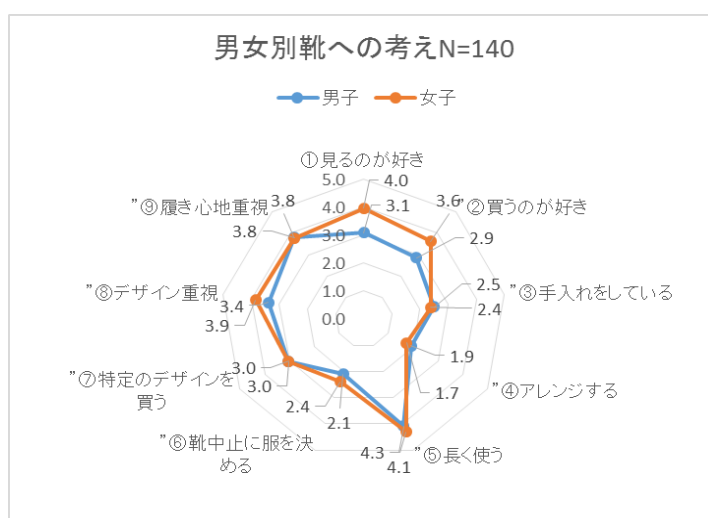
女性陣のほうが男性陣よりも「あてはまる」、「よくあてはまる」に回答をする人が多く見て取れ

る(女性③=3,3④=3,1)。これは女性陣のほうが普段着る(靴も含む)他者との差別化を図りなおかつ他者に褒めてもらいたいという考えが強いのではないかと考えられる。(① $t=4,752,df=138,p<0,5$ ② $t=270,df=138,n.s$ ③ $t=2,373,df=138,p<0,5$ ④ $t=2,336,df=131,p<0,5$ ⑤ $t=2,687,df=118,p<0,5$ ⑥ $t=-1,041,df=131,n.s$ ⑦ $t=-0,911,df=138,n.s$)

次に、「靴に対する考え」を見るため、先ほど同様 5 段階評定の質問をいくつか設け回答してもらいそのデータを元に t 検定を行い、男女別の平均値をレーダーチャートで作成した。(このレーダーチャートも数値が高いほど、よく当てはまる、当てはまるに回答した人が多いこととする。)(図表 10 参照)

図表 10(N=140, 男子=59, 女子=81)

結果は、男子よりも女子の方がすべての項目の平均値が少し上回っているか同じという結果になった。特に①「靴を見るのが好き」、②「靴を買うのが好き」この二項目は男子よりも圧倒的に平均値が(①=4,0②=3,6)と高く、多くの女子大学生は靴を見たり買ったりするのに対し肯定的な感情を抱いているようだ。逆に男子陣はこの二項目は比較的平均値

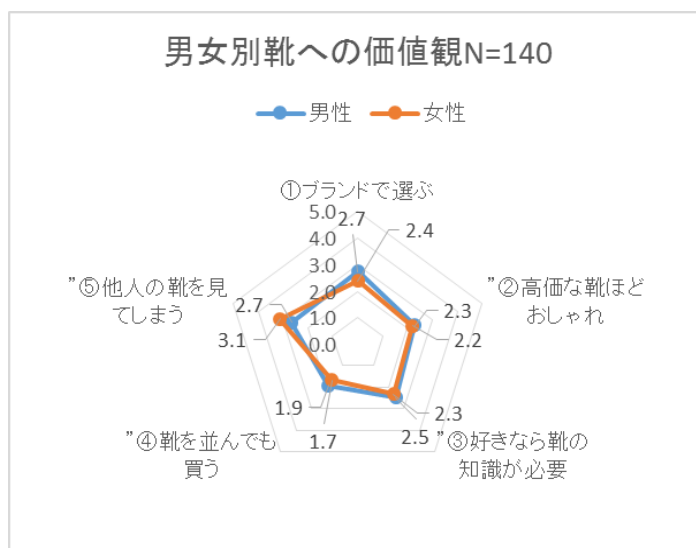


が低い(①=3,1②2,9)。これは男子陣があまり靴に対してこだわりがなく、とりあえず長く履ければよいという考えの表れではないのか。その証拠として男女ともに質問④「靴を長く使う」という質問項目においてとても高い数値(④=4,3 4,1)で平均値が出ている。つまり女子は「靴を見たり買ったりするのが好きではあるが一足一足大切に使う」男子は「靴を見たり買ったりするのはあまり好まず長持ちするものを好んで履く」傾向にあるということが分かった。(① $t=4,686,df=138,p<0,5$ ② $t=3,781,df=138,p<0,5$ ③ $t=-566,df=138,n.s$ ④ $t=-998,df=118,n.s$ ⑤ $t=1,235,df=120,n.s$ ⑥ $t=1,484,df=118, p<0,5$ ⑦ $t=0,071,df=124,n.s$ ⑧ $t=2,486,df=183,p<0,5$ ⑨ $t=194,df=120,n.s$)

次に「靴に対する価値観」をみるため前の二つ同様 5 段階評定の質問をいくつか設け回答してもらいそのデータを元に t 検定を行い、男女別の平均値をレーダーチャートで作成した。(このレーダーチャートも数値が高いほど、よく当てはまる、当てはまるに回答した人が多いこととする。)(図表 11 参照)

図表 11 (N=140, 男子=51, 女子=81)

靴の価値観に関しては、男女間で大きな差は見られなかった。注目するならば、質問⑤「他人の靴を見てしまう」が男女とも比較的他の項目に比べ平均値が高いことが伺える(男子=2,7 女子=3,1)。これは、足元のおしゃれに対する考えででていた差別化を図る際に、他者がどういった靴を履いているかを気にすることにより他者と靴をかぶらせないようにしている動きを表している。そして質問②「高価な靴ほどおしゃれ」この質問は「とてもそう思う」、「そう思う」と回答する人が多いと思われたが以外にも肯定的な回答は少なかった。つまり高い＝おしゃれという概念は最近の学生にはないことが伺える。(① $t=-1,565,df=113,p<0,5$ ② $t=-3,93,df=123,n.s$ ③ $t=-827,df=138,n.s$ ④ $t=1,211,df=121,p<0,5$ ⑤ $t=1,922,df=124,p<0,5$)



足元のおしゃれに関する 21 の質問に対してそれぞれの平均点を算出し、バリマックス回転を用いて主成分分析による因子分析を行った。(図表 12,13 参照)

図表 12 (N=140)

	靴に対する主観的なもの	靴に対する客観的なもの	靴に対するこだわり	靴の品質
見るのが好き	0.829	-0.088	0.162	0.159
服と同じくらい重要	0.809	0.2	0.028	0.132
買うのが好き	0.767	-0.038	0.379	0.038
靴を褒められるとうれしい	0.752	0.322	0.023	-0.053
ほかの人が履いてない靴を履く	0.675	0.414	-0.012	-0.104
デザイン重視	0.643	0.085	0.165	0.393
靴を宣伝する	0.036	0.821	0.134	0.045
おすすめした靴を買ってくれた	0.132	0.667	0.115	0.043
同じ靴はいているとうれしい	0.093	0.661	0.267	0.13
足元を見てもらいたい	0.367	0.598	0.222	-0.095
靴中心に服を決める	0.323	0.187	0.689	0.002
手入れをしている	0.295	0.313	0.622	-0.097
アレンジする	-0.041	0.437	0.594	-0.108
特定のデザインを買う	-0.066	0.09	0.554	0.521
履き心地重視	-0.001	0.211	-0.192	0.758
長く使う	0.332	-0.191	0.055	0.689

第一因子には、「靴を見るのが好き」、「靴を褒められるとうれしい」といった靴に対しての主観的な考えに関するものが高い因子寄与率で抽出された。第二因子には、「靴を宣伝する」、「(他者が)同じ靴を履いているとうれしい」といった他者からの評価に関する客観的な考えのものが抽出された。第三因子には、「手入れをしている」、「特定のデザインを買う」といった自身の靴に対するこだわりに関するものが抽出された。第四因子には、「履き心地重視」、「長く使う」と

いった靴の品質に関連したものが抽出された。

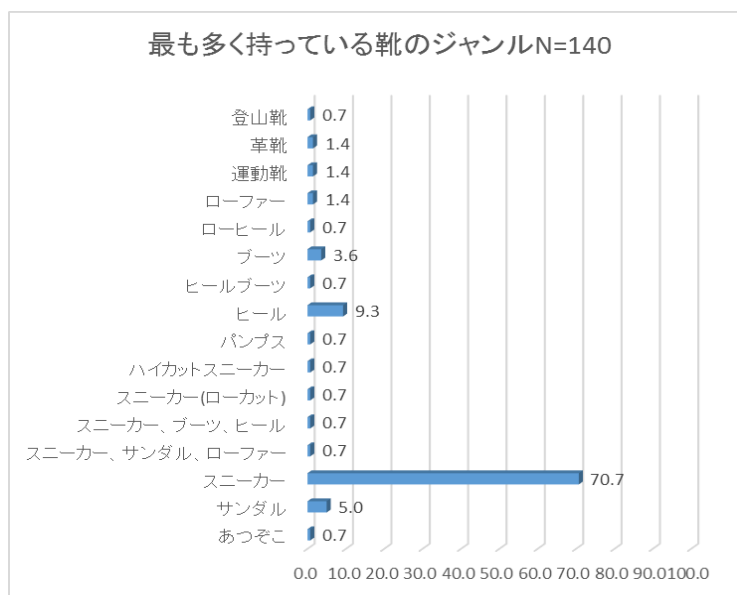
図表 13 (N=140)

因子(平方和、 寄与率)	因子の内容
第一因子(3,84 23,973%) 靴に対する主観的なもの	見るのが好き、服と同じくらい重要、買うのが好き、靴を褒められるとうれしい、ほかの人が履いていない靴を履く、デザイン重視
第二因子(2,66 16,60%) 靴に関する他者への感情	靴を宣伝する、おすすめした靴を買ってくれた、同じ靴を履いているとうれしい。足元を見てもらいたい
第三因子(1,91 11,94%) 靴に対するこだわり	靴中心に服を決める、手入れをしている、アレンジする、特定のデザインを買う
第四因子(1,59 9,90%) 靴の品質	履き心地重視、長く使う

・靴を選ぶ際の基準に関する質問

最も多く持っている靴のジャンルを、自由回答で回答してもらいどのジャンルの靴が多いか割合を出しグラフ化した。やはり、近年のスニーカーブームの効果もあり全体の 70,0%を占めている。次に多いものは女性陣が多く履く機会があるヒールが約 10,0%を占めている。(図表 14 参照)

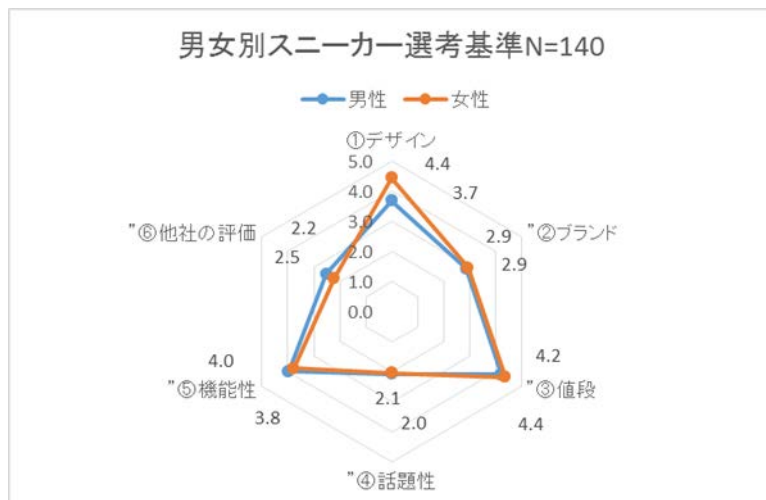
図表 14 (N=140 単位%)



次に、最も多く票が入っていたスニーカーをどういった基準で選ぶのかをみるためスニーカーを購入する際の選ぶ要素を何項目か作り 5 段階評定で回答してもらった。そしてその平均値を元に t 検定を行い、レーダーチャート(男女別)を作成した。(このレーダーチャートも数値が高いほど、よく当てはまる、当てはまるに回答した人が多いこととする。) (図表 15 参照)

図表 15 (N=140, 男子=59, 女子=81)

ほぼ、男女での差は見られなかったが、質問①の「デザイン」は男女ともに数値が高く(男子=3,7 女子=4,4)、特に女子はとても平均値が高かった。つまり、デザイン性は靴を選ぶ際にとっても重要視されていることが見て取れる。そして質問⑥「他者からの評価」は以外にも男子の方

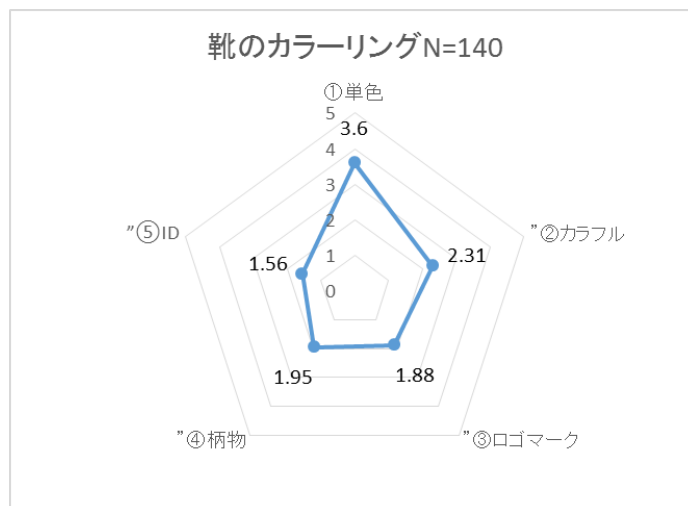


が気にしていることが分かった(男子=2,5 女子=2,2)。これは長持ちするものでもデザインを注意して他者からは好印象を持たれたいのかもしれない。(① $t=2,276, df=113, p<0,5$ ② $t=898, df=138, n.s$ ③ $t=0,671, df=128, n.s$ ④ $t=-2,027, df=138, n.s$ ⑤ $t=-1,866, df=138, n.s$ ⑥ $t=1,120, df=130, p<0,5$)

次に靴のカラーリングにも何か影響があるのかを集計し、回答の平均値を出したものを「レーダーチャート」であらわした。(図表 16 参照)

表 16 (N=140, 男子=59, 女子=81)

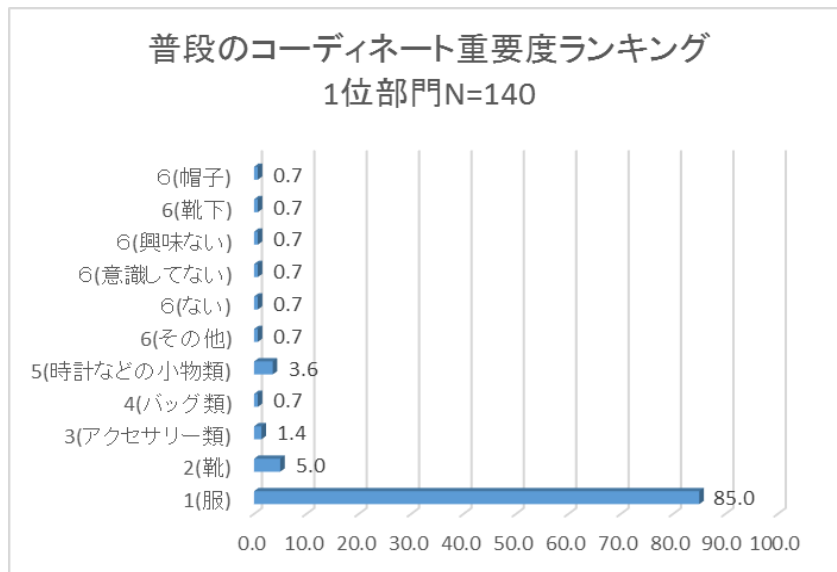
圧倒的に単色の平均値が高く(単色=3,6)、そのほかの項目はほぼ「あまりそう思わない」、「あまりそう思わない」と回答する人が多かった。やはり淡色の方が、販売数が多いという点もあるが、購入する際間違いがなく、他者からの評価も否定的なものはないからだろう。



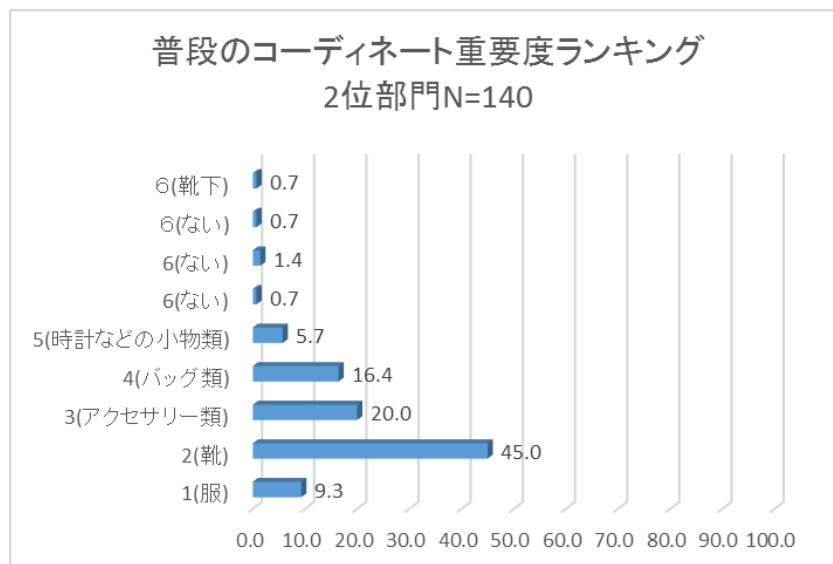
・靴とファッションに関する質問

次に、ファッションと靴が関連しているのかを調べるための調査を行った。まず、私生活のなかで着る服(靴も含まれる)において、どこに重点を置いているのかを調べることにした。私生活で着たり、履いたり、身に着けたりするもので重要なものを項目ごとに分け優先度の高いものからランキング形式で記入してもらった。そしてその結果を集計し、「1位」・「2位」・「3位」それぞれを円グラフとして表した。(図表 17、18、19 参照)

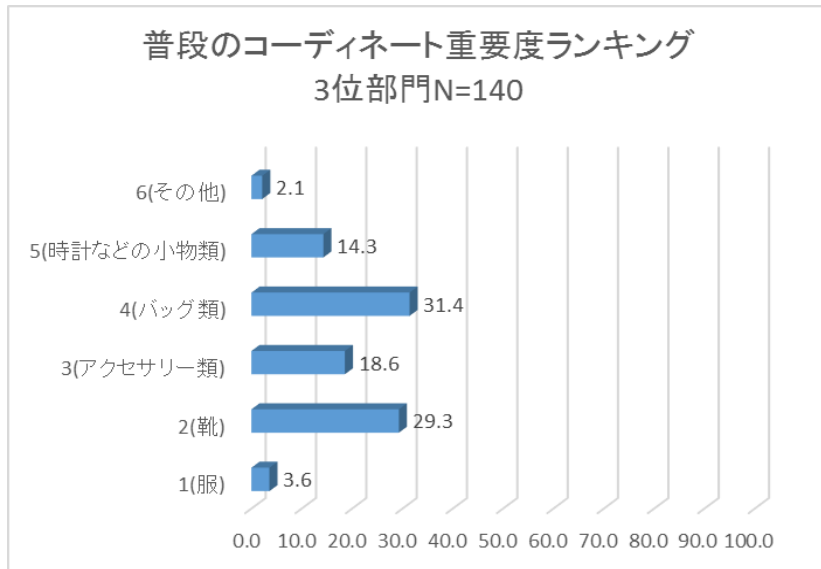
図表 17 (N=140 単位=%)



図表 18 (N=140 単位=%)



図表 19 (N=140 単位=%)



図表 17(普段のコーディネート重要度 1 位)をみるとやはり服が約 85,0%と圧倒的な数を占めていたが注目してもらいたいのは、15,0%は服以外の部分を重要視しているということである。その中でも靴に対して約 5,0%の人が普段の服装で重要視しているのが靴と回答したのである。

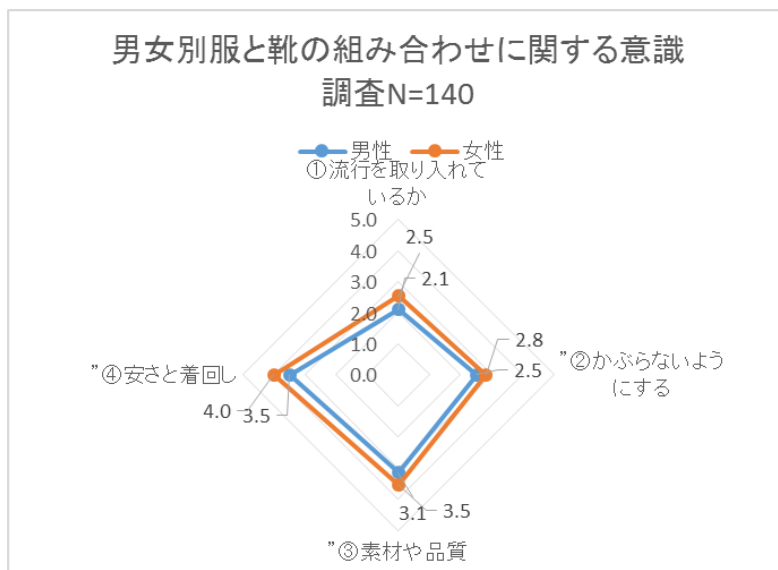
図表 18(普段のコーディネート重要度 2 位)をみると靴が約 45,0%と大半を占める結果となった。これは、服の次に何が重要になってくるのかと考えた時に靴だと考える人が多いということだろう。

図表 19(普段のコーディネート重要度 3 位)はほぼ均等に票が割れた。そのなかでも意外だったのが、バッグが約 31,4%を占め三位の中では一番多く票を占めていたことが伺えた。

次に男女別に服と靴の組み合わせ方に何か違いがあるのかを見るため、いくつか質問項目を作り 5 段階評定の段階評定で回答してもらい t 検定を行った後、その平均値をレーダーチャートで表した(図表 20 参照)

図表 20(N=140 男子=59 女子=81)

結果を見ると男子よりも女子の方がすべての項目に置いて一回り平均値が高いことが伺える。これは女性の方が毎日の服装に比較的气を使っているのではないだろうか。特に質問④の「安さと着回しさ」では(女子=4.0 男子=3.5)と男子でさえも高い数値が出ていた。毎日私服で投稿する大学生にとって服の着まわしやすさ



は重要なかもしれない。それにともない服をある程度の量を所持しなければならないという事で安さも重要視されるのだろう。(① $t=2,114$ $df=138$ $p<0,5$ ② $t=1,329$ $df=121$ $p<0,5$ ③ $t=1,849$ $df=114$ $p<0,5$ ④ $t=2,713$ $df=118$ $p<0,5$)

5. まとめと考察

今回の調査の目的として、大学生の中でどれだけ「足元に対してのおしゃれ」という一点に対して考えがあるのか、また近年起きている「スニーカーブーム」などの流行という一つの時代を形成するものがある中で現在大学生は「ファッションと靴」という毎年流行が移り変わりゆくものに対してどう対応しているのかを見るために調査し考察することであった。

まず足元に対してのこだわりがある人の定義化として「購入頻度が 1~3 か月以内もしくは所持数 10 足以上」のどちらかに該当する人という基準を予備調査で決め、本調査でその基準を元に調べていくと想像以上に該当する人がいなかった。これは学部によって基準値に差があるのかもしれない。

次に、男女間で靴に対して「質と量」というこの 2 点で考え方に差異があるということが明確化した。男子は「多く所持できない代わりに 1 足に対する質を上げる」女子は「質は少し落ちるが所持数を増やす」という異なる感性から靴を捉えているようだ。

そして男女間での「足元のおしゃれに対する考え」は常に服装に気を使っている人が多い女性陣は足元のおしゃれに対して比較的肯定的な人が多く尚且つ、周りと被らないように差別化を図るようにしている考えの人も多く伺えた。逆に男性陣はあまりファッションなどに疎いのか、

肯定的な人があまりおおく見られなかった。靴も長持ちすればなんでもいいという人が多いという人とブランド物を買うという 2 極化している。だが長持ちすればなんでもいいという考えの人たち視点からすると一足を長く履き続けるという考えは逆に「こだわり」なのかもしれない。

結果として、男女間では流行に敏感な人が多い女性陣の方がその時その時の流行に対し「靴」というカテゴリー内でも柔軟に対応している人が多い中で、男性陣は人気のブランドを履く人もいれば、そういったことには重きを置かず最低限のもので済ますという人がいるということが本調査を通して考えたことである。

6. 参考文献

穂川 茉莉子, 渡辺 明日香 (2010) 「靴とファッション意識の相関性」『共立女子短期大学生生活科学科紀要』53号

中間玲子 (2014) 「青年期の自己形成における友人関係の意義」『兵庫教育大学研究紀要』44号

安永明智 野口京子 (2012) 「ファッションへの関心と着装行動に関する基礎的調査研究；性別、年齢、主観的経済状況、性格による差の検討」『ファッションビジネス学会論文誌』17号

阿部有香里 石井奈津江 篠田 鮎子 清水由貴子 村主 奈緒 丸橋 知子 山田 早苗 吉野 睦美 (2000年) 「流行 (ファッション) に対する意識」

URL; www.jumonji-u.ac.jp/sscs/hoshinoa/2001/fashion.pdf, 2016年12月20日閲覧

井坂裕子 (2007-1月) 「スポーツブランドのファッション性」

URL ; www.bunkyo.ac.jp/~mediares/2006/sem34/41isaka.PDF, 2016年12月10日閲覧

鈴木北斗 (2014-10月) 「大学生のスポーツ用品メーカーのスポーツシューズの購買理由」

URL; https://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/doc/20_ronbun/2014/1..., 2016年12月13日閲覧

足元のおしゃれに関する意識調査

所属；文教大学情報学部メディア表現学科3年
授業名；「メディア調査研究法Ⅲ」
調査員指名；松井育海
担当教員；日吉昭彦

本調査は、足元のおしゃれに対しての考えを目的としています。
回答者のプライバシーの保護に配慮し、ご回答はすべて統計的に処理いたしますのでご迷惑をおかけすることはありません。ぜひとも率直なご意見をお聞かせください。
お忙しいところを誠に申し訳ございませんが、ご協力よろしくお願い致します。

ご記入にあたってのお願い

1. 調査には、必ず調査票を受け取った本人が回答・ご記入ください
2. お答えになりにくい質問については無記入でも結構です。
3. 質問への回答は、特に指示のない限りあてはまる回答選択肢の項目番号に○をつけてください。
4. 質問は全部で
5. ご記入は、黒の鉛筆またはシャープペン、ボールペンをお願いします。また、回答を修正する場合は前の回答を消しゴムで消すか、×印をつけるなどして、提示したことを明示してください。
6. 設問の内容など、不明な点がございましたら、調査員にお尋ねください。

※次のページから回答をお願いします。

Ⅰ.靴または足元の装飾品に対する質問

問1. あなたの現在の靴(サンダルなども可)の所持数で、当てはまるもの一つに○をお願いします。

1. 5足以下 45.0	2. 6～10足以下 40.0
3. 11～15足以下 8.6	4. 16～20足以下 2.9
5. 21～25足以下 2.9	6. その他()足 0.7

問2. あなたの靴を購入する頻度は以下のどれですか？(当てはまるもの一つに○を)

1. 1ヶ月以内 2.9	2. 1～3ヶ月以内 17.9
3. 3～6ヶ月 20.7	4. 6～9ヶ月以内 16.4
5. 1年以内 27.9	6. 一年以上 14.3

**問3. 所持している靴の中で一番多く持っている靴のカテゴリーは何ですか？
下の枠内に記入をお願いします。例. スニーカー、ブーツ、ヒールなど・・・**

スニーカー、ブーツ、ヒールなど

**問4. あなたが現在に至るまでに所有している、もしくはいた最も高価な靴の値段はいくらですか？
(あてはまるもの一つに○を)(その他の人は金額を記入)**

1.0～4,999円 14.3	2. 5,000～9,999円 42.9	3. 10,000～14,999円 14.3
4. 15,000～19,999円 16.4	5. 20,000～24,999円 5.0	6. 25,000～29,999円 1.4
7. 30,000～34,999円 2.9	7. ()円 0.7	

**問5. あなたの普段日常で履いている靴で最も長く履いているものの年数はどれくらいですか？
当てはまるもの一つに○を。(その他は具体的な数の記入を)**

1. 1～3か月 2.9	2. 4～6か月 10.7
3. 7～9か月 10.7	4. 10か月～1年以下 15.7
5. 1年以上 59.3	6. その他() 0.7

問6. あなたは靴を入手する際どういう考えで購入していますか？当てはまるものに○を

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらでもない	どちらかというところそう思わない	そう思わない
ア；値段をリーズナブルにする代わりに量を持ちたい。	10.7	31.4	14.3	26.4	17.1
イ；量を持ってない代わりに高品質のものを持ちたい。	12.9	30.0	21.4	23.6	12.1
ウ；高品質のものを多く所持したい。	11.4	20.0	17.9	30.0	20.7
エ；とりあえず長持ちするものならばなんでもいい。	19.3	34.3	17.1	12.1	17.1

問7. あなたの靴以外の足元の装飾品(靴下など)に対する考えはどれですか？(当てはまるものに○を)

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかというところそう思わない	そう思わない
ア；靴同様こだわりたい	15.0	30.0	22.9	17.1	15.0
イ；そもそも足元のおしゃれに興味がない	14.3	19.3	16.4	26.4	23.6
ウ；靴はこだわるがそれ以外に興味がない	1.4	13.6	21.4	32.9	30.7
エ；デザインは気にしないが機能性はほしい	12.9	16.4	23.6	28.6	18.6

問8. 新しいファッションに関する情報(主に靴)を入手する方法がありますか？

1. はい 38.6	2. いいえ 61.4
------------	-------------

問9. はいと答えた方に質問します。その情報を得る方法として利用しているのは以下のどれですか？(当てはまるもの二つに○)

1.雑誌 17.9	2.友人からの情報 4.3
3.SNS 15.7	4.その他()0.7

II あなたの足元のおしゃれに対する考えの質問

問10. あなたの足元のおしゃれに対する考えを教えてください。(あてはまるものに○を)

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかというところそう思わない	そう思わない
ア；足元のおしゃれは服と同じくらい重要だ。	19.3	51.4	12.9	15.0	1.4
イ；むしろ服よりも足元のおしゃれを他人に見てもらいたい。	2.9	9.3	39.3	37.1	11.4
ウ；履いている靴を褒められると服や髪形を褒められると同じもしくはそれ以上に嬉しい	7.9	35.7	24.3	25.0	7.1
エ；ほかの人があまり履いていない靴を履いていたりすると少し優越感を持つほうだ	10.7	22.1	30.7	25.0	11.4
オ；新たに出るモデルや自身のおすすめの靴を他人にも勧めたり、情報を言ったりなどの宣伝活動をするのが好きだ。	2.9	8.6	27.1	31.4	30.0
カ；自分と同じモデルのものをはいている人を見るとなんだかうれしい。	5.0	13.6	27.9	31.4	22.1
キ；自分がお勧めした靴を買ってくれたりするとなんだか、周囲に認められた気がする。	4.	15.7	31.4	27.1	21.4

問11. あなたの靴に対する考えを教えてください。(当てはまるものに○を)

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかというところを思わない	そう思わない
ア. 靴を見るのが好きだ	22.9	40.0	17.9	12.1	7.1
イ. 靴を買うのが好きだ	19.3	27.9	25.7	18.6	8.6
ウ. 靴のお手入れをしている	3.6	15.7	24.3	32.9	23.6
エ. 自分で靴をアレンジしたことがある	1.4	9.3	13.6	20.0	55.7
オ. 気に入った靴は長く使うほうだ	52.1	29.3	10.0	5.0	3.6
カ. 靴中心にその日に着る服を決める	4.3	12.9	17.9	35.7	29.3
キ. 特定のデザインのを多く買う傾向にある	12.1	30.0	22.9	20.0	15.0
ク. 靴はデザイン重視だ	23.6	41.4	18.6	10.0	6.4
ケ. 靴は履き心地重視だ	27.9	40.7	17.1	11.4	2.9

問12. あなたの靴に対する価値観を教えてください (当てはまるものに○を)

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかというところを思わない	そう思わない
ア. 靴はブランドで選ぶ	9.3	17.9	20.0	22.9	30.0
イ. 高価な靴ほどおしゃれに見える	2.9	15.0	19.3	29.3	33.6
ウ. 靴の知識は好きならある程度必要だ	3.6	19.3	20.0	27.1	30.0
エ. 並んででも靴を買う方だ	2.9	7.9	14.3	14.3	60.7
オ. 他人の履いている靴をじっくり見てしまう	15.0	27.1	17.9	15.7	24.3

III 靴のデザインや入手方法に関する質問

問13. あなたは、靴を入手する手段として最も利用しているのは何ですか？ (当てはまる項目にそれぞれ○を)

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかというところを思わない	そう思わない
ア; 店舗で購入	77.1	16.4	5.0	0.7	0.7
イ; ネット通販	11.4	13.6	12.9	14.3	47.9
ウ; 友人から貰う	0.7	3.6	7.9	7.9	80.0
エ; 友人から買う	0.7	2.9	5.7	7.9	82.9
オ; おさがり	5.7	8.6	9.3	7.1	69.3
カ; 友人からのプレゼント	0.7	4.3	9.3	8.6	77.1

問14. 特にスニーカーを入手する際の基準は何ですか？ (特に当てはまる項目にそれぞれ○を)

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかというところを思わない	そう思わない
ア; デザインを気にする	45.0	36.4	10.7	2.1	5.7
イ; ブランドを重視している	10.7	29.3	20.0	19.3	20.7
ウ; 値段を見る	48.6	37.9	9.3	1.4	2.9
エ; 話題になっているかどうか	3.6	8.6	21.4	22.1	44.3
オ; 機能性の良し悪しをみる	25.7	46.4	19.3	4.3	4.3
カ; 他者からの評価	2.1	17.9	28.6	15.0	36.4

問15. あなたが靴を選ぶ際、カラーリングはどんな基準で購入していますか？(それぞれ当てはまるものに○を)

	1.	2.	3.	4.	5.
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
ア；単色を選ぶようにしている	23.6	35.0	27.1	6.4	7.9
イ；いろいろな色が入ったものを選ぶようにしている	0.7	12.9	31.4	27.1	27.9
ウ；ロゴマークやアニメのキャラクターがプリントされているものを選ぶようにしている。	0.0	5.7	25.7	19.3	49.3
エ；ストライプやドットといった柄物を選ぶようにしている	0.7	7.1	23.6	23.6	45.0
オ；自分で色付けをして購入している(例. NIKE. ID Adidas original)	1.4	5.0	12.9	10.0	70.7

IV 足元のおしゃれとファッションに関する質問

問16. あなたが普段の私生活で着る服装(靴も含まれる)で最も意識しているのは以下のどれですか？(1位、2位、3位の欄に数字を記入してください。その他には()内に具体的な名前も書いておいてください。)

1.服 1位 85.0 2位 9.3 3位 3.6	2.靴 1位 5.0 2位 45.0 3位 29.3
3.アクセサリ類 1位 1.4 2位 20.0 3位 18.6	4.バッグ類 1位 0.7 2位 16.4 3位 31.4
5.時計などの小物類 1位 3.6 2位 5.7 3位 14.3	6.その他() 1位 0.7 2位 0.7 3位 0.7

1位；

2位；

3位；

問17. 服と靴を合わせる際に最も意識していることは以下のどれですか？(当てはまるものに○を)

	1	2	3	4	5
	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
ア；流行を取り入れているかを重視する	2.9	20.7	20.7	20.7	35.0
イ；まずは皆と被らないことを重視する	8.6	28.6	17.9	13.6	31.4
ウ；素材や、品質を重視する	13.6	42.1	22.9	9.3	12.1
エ；安さや着まわしやすさを重視する。	27.9	40.7	20.0	5.0	6.4

問18. あなたの年齢を教えてください。

20.9

歳

問19. あなたの性別を教えてください。(当てはまるもの一つに○を)

1. 男性 42.1

2. 女性 57.9

以上で、質問を終了します。ご協力ありがとうございました。